



2023年12月22日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマト
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 町田 豊
(コード番号：1967 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長 藤井政宏
(TEL 027-290-1800)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、自社の資本コストや資本収益性について現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社の株価、PBR、ROEの推移は以下のとおりです。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
株 価	486円	509円	706円	733円	809円
PBR	0.47倍	0.59倍	0.55倍	0.58倍	0.65倍
ROE	8.9%	8.7%	7.7%	8.5%	5.5%

資本コストと資本収益性のバランスについては、ROEの直近5期平均は7.86%となっており、当社の認識する株主資本コストを上回る水準で推移しております。

一方で、市場評価は、PBRが1倍を下回っていることから、収益性に比して株価は割安な水準で推移していると認識しております。

2. 方針・目標

現状評価を踏まえて、当社は以下の方針・目標を掲げて、取組みを強化してまいります。

(1) 事業成長と収益性の向上

○今年度スタートした中期経営計画(2023~2025年度)の成長戦略「コア事業の強化・拡大」の実践による経営目標「ROE 8%以上・配当性向 30%以上」の達成
設備施工の工業化による生産性向上・省力化、施工管理体制の強化を推進

- ・西善中内工業団地（前橋市）に建設予定のロジスティクスセンター・設備加工工場の稼働による物流合理化・工業化を推進
（土地取得済み 約 10 億円、建物・設備 約 30～40 億円予定）
- ・全社 I T システムの再構築に向けたシステム投資（約 8 億円予定）
- ・収益力強化に向けた低採算案件の基準見直し
- ・人事制度改革による人的資本投資への取組み

（2）財務戦略及び資本戦略の強化

- ・株主還元強化（＊）
自己株式 850 百万円、1 百万株の取得
自己株式の取得については、今後も機動的な実施を検討
- ・政策保有株式の縮減（＊）
純資産比 18% 目標（2023 年 3 月期 19.2%、6,600 百万円）
2023 年 3 月期実績（売却価額） 7 銘柄 746 百万円
- ・遊休不動産売却
（＊）については、現中期経営計画期間内で実施

（3）I R 活動の充実

- 当社の経営戦略および取組みをご理解していただき、P E R の改善、資本コストの低減を図る
 - ・オンラインフェア、個人投資家説明会の実施
 - ・株主・投資家との継続的な対話強化

（4）その他

- ・ガバナンス面の強化
任意の指名報酬委員会の設置、役員株式報酬制度の導入に向けた検討

以 上